



## 今年度最後の全校朝会

昨日、今年度最後の全校朝会を行い、内容は校長先生のお話と6年生の音楽発表でした。まずは、校長先生のお話です。

本年度、最後の全校朝会となる今日は、昨年度、開催された東京オリンピックに水泳選手として出場した池江璃花子選手のお話をします。

池江選手は、4年前の2019年1月、オーストラリアでの合宿中に体調不良を訴えて、予定を切り上げて帰国しました。検査の結果、血液の癌とも言われる白血病と診断されたのです。それからは、過酷な闘病生活を送り、およそ1年半後、見事に病を克服し、東京オリンピック代表選手として、プールに帰ってきたのです。闘病生活は想像を絶するほど過酷で、高校の卒業式にも出席できなかったほどです。それほどの苦難を乗り越えての返り咲きは、日本中に感動を与え、病に苦しむ多くの方々に勇気を与えました。池江選手は、インタビューの中で『心の中にある「桜」は何分咲きですか』という問いに、『今は7分か8分』と答え、『さらに満開になるのは?』という問いには、『それはいつか五輪で金メダル、もしくはメダルを取れたらかな』と笑顔で答えました。

さて、桜や梅などの春に咲く花は、冬の寒さが厳しければ厳しいほど、美しい花を咲かせると言います。「雪に耐えて梅花麗し」という言葉があるように、立派な人の多くは困難や試練を経験しています。池江選手もまた、長く苦しい闘病生活乗り越え、今は、きっとパリ・オリンピックを見据え、さらに努力をしておられることでしょう。見事に咲き誇ることを願っています。

『雪に耐えて梅花麗し』とは、明治維新の立役者の一人で、薩長同盟の成立や江戸無血開城など大きな成果をあげ、明治新政府では重要な役職に任命された西郷隆盛が、イギリスへ留学する甥へ、辛いこともたくさんあろうが、耐えて努力をしてしっかり学んできてほしいということを書いた手紙にある詩に由来しています。

この1年間の皆さんの努力や苦勞は、お父さんやお母さん、そして先生方がしっかり見ています。お勉強だけでなく、お友達との関係で悩み、辛かった人もいるかもしれません。「雪に耐えて梅花麗し」の言葉が意味するように、そのような経験は、きっと皆さんの内面で育ち、人として成長し、これからの人生にきっと生かされていくことでしょう。梅や桜の花が厳しい冬を経験するように、人にも生きていく上で辛く苦しい期間は必ずあります。辛く苦しい時にこそ、耐え忍び、困難を乗り越えようと努力することによって、未来はより一層明るく、輝かしいものになるでしょう。今日は、「雪に耐えて梅花麗し」というお話をしました。もうすぐ、梅の花が咲きます。その頃、今日のお話を思い出して、「進級しても頑張ろう!」と心に誓ってください。

続いて、6年生の音楽発表です。音楽室で事前に撮影したものをリモートで全校児童に披露しました。6年生全員による「ひまわりの約束」の合唱と「キセキ」の合奏でした。気持ちの良い朝の時間に、美しい歌と演奏が校舎内に響きました。披露が終わると各教室から自然と拍手が聞こえてきました。演奏後に5年生の代表と昨年担任の後藤先生から感想が6年生に伝えられました。今年度最後の全校朝会で、6年生のすばらしい発表を聞くことができ、とても嬉しくなりました。

## 大寒波到来ですが・・・子供たちは雪遊び!

全校朝会と時は前後して、先週の火曜日の午後から木曜日にかけての大寒波では、大雪により、保護者のみなさまには大変ご心配をおかけしました。特に水曜日は登下校の際に多くの保護者の皆様に見守りをいただいたことと思います。ありがとうございました。



さて、登校してきた子供たちは、校庭に降り積もった雪に大興奮で、みんなで雪遊びを楽しんでいました。積もっている雪に足跡をつけるだけでも楽しいようでみんな笑顔でいっぱいでした。また、雪遊びをするだけでなく、6年生を中心に、渡り廊下や外廊下に降り積もった雪や氷を進んで片付ける姿がありました。滑る危険を減らし、みんなが安全に通ることができるようにとの配慮です。みんなのために進んで活動できるすばらしい姿を見ることができてとても嬉しくなりました。

